

令和3年度 山梨県立巨摩高等学校定時制学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	健康で、明るく、思いやりのある心の温かい生徒を育成する
-----------	-----------------------------

山梨県立巨摩高等学校校長 横森 伸司

本年度の重点目標	1 学ぶ意欲を育てるように授業を工夫し、基礎学力を身につけさせる。
	2 キャリア教育を充実させ、個に応じた進路指導を展開する。
	3 多種多様な体験学習を展開して、生徒に自信をつけさせコミュニケーション能力を育成する。
	4 保護者、地域に積極的に学校情報を発信し、理解を得る。

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価			
本年度の重点目標		年度末評価(1月24日現在)	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	学ぶ意欲を育てるように授業を工夫し、基礎学力を身につけさせる。	授業方法を工夫することにより、各自の授業力向上や授業改善に努める。	相互授業参観
		授業改善につながるよう生徒向け授業アンケートを工夫し、実施する。	授業アンケートの実施
		生活体験文や生徒会誌「青雲」の作成に全校体制で取り組み、生徒の国語力を向上させる。	校内生活体験文発表会、生徒会誌「青雲」
2	キャリア教育を充実させ、個に応じた進路指導を展開する。	進路希望別にハローワーク、専門学校、大学等を訪問する機会を設け、進路意識の向上をはかる。	生徒アンケート
		進路ガイダンスや進路講話、職業体験、企業見学等を実施する。	生徒アンケートまたは感想文
		ハローワークと連携した作文・面接指導を実施すると同時に、個別の指導体制を確立し、進路実現をはかる。	就職・推薦入試実績
3	多種多様な体験学習を展開して、生徒に自信をつけさせコミュニケーション能力を育成する。	総体・教育祭等の校外行事、生徒会行事、社会体験などを通じて、豊かな社会性、人間性の醸成に努める。	生徒アンケートまたは感想文
		地域の芸術・伝統文化に親しむ機会を設ける。	生徒アンケートまたは感想文
		感染症対策や生徒の実態等を踏まえ、行事内容の検討を行ったうえで適切な活動を実施していく。	生徒アンケート
4	保護者、地域に積極的に学校情報を発信し、理解を得る。	進路講話や授業参観など保護者の学校参加の機会を設け、学校理解に生かしていく。	保護者アンケートの実施
		生徒の活動や作品を地域へ周知する取り組みを充実させる。	保護者アンケートの実施
		ホームページ及び学校通信を充実させ、内容の濃い、より良い情報を発信する。	通信の発行やホームページの更新
5			
6			
7			

学校関係者評価	
実施日(令和4年2月10日)	
評価	意見・要望等
3	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人に丁寧な対応をして、基礎学力の定着を目指す授業改善を行ってほしい。 わかりやすい授業やプリントを使うなどの工夫により、生徒の基礎学力は定着しているように思う。 アンケートでほとんどが4以上、素晴らしい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 各種見学会だけでなく、実際の職場体験も必要ではないか。変化の激しい時代なので、生き方を考えるキャリア教育が重要である。 就職だけでなく今年は大学進学者もいるなど、進路指導が適切に行われた結果が表れている。
3	<ul style="list-style-type: none"> 高校総体の成績は「誰一人取り残さない」という学校の姿勢が実ったもので、生徒同士のコミュニケーション能力の向上にも役立つのではないかと感じる。 様々な体験を重ねていることがよくわかる。生きる力やコミュニケーション能力は育てるのが難しいが、常に生徒に寄り添う雰囲気が見られて安心する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 「巨摩定通信」は生徒、保護者、地域への情報発信の重要なツールとなっており、今後も継続、発展を望む。加えて、HPやメールも有効に活用してほしい。 「巨摩定通信」の内容をさらに工夫することにより、家庭での会話の材料になるとよい。 コロナで見えない学校の状況を広く伝えるため、「巨摩定通信」や学校のHPは重要。家族が安心できる。 「巨摩定通信」の充実についても感心している。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。